

かさとりとうげのまつなみき

笠取峠のマツ並木

- 所在地／長野県北佐久郡立科町大字芦田
- 規模／幅 平均約 4 m、長さ 0.85Km、面積 約 1ha、樹齢 20～250 年
- 指 定／長野県天然記念物
- 問合せ／立科町教育委員会 社会教育課 社会教育人権政策係 電話 0267-56-2311



立地環境

近世五街道のひとつ中山道に残るマツ並木とその周辺を松並木公園として整備し、アカマツの保護に努めています

松原の 今昔物語

中山道の昔日のおもかげ

笠取峠のマツ並木は、慶長7(1602)年頃、「幕府から小諸藩に下附された赤松数百本」を植えつけられたと伝えられています。

マツ並木は、江戸時代には、街道の難所である笠取峠に付随する旅の名所として、旅人の心を癒し、諸大名の行列の通行をはじめ、街道を行き交う旅人の様子や時代の変遷を見守ってきました。明治時代以降、街道は車道として整備され、昭和40年代には、マツ並木の中を通る国道142号の交通量の増加とともに、通行する車両の通行の妨げともなってきたことから、国道142号のバイパス化や公園化により、マツ並木の保存に努めてきました。また、マツノザイセンチュウによる松枯れなど、アカマツの本数が減少していることを受け、将来にわたりマツ並木を保護し、大切に後世に継承していくために、平成23年度に「笠取峠のマツ並木保存管理計画」を策定しました。

文と写真：立科町教育委員会 社会教育課 社会教育人権政策係

COLUMN

江戸時代に植えられたアカマツが残る街道並木は四季折々の風景を映し出してくれます。

芦田宿には、寛政12年(1800)再建の本陣があり、また、少し足をのばせば我が国最古の談義所とも言われる津金寺があります。

ACCESS

●バスの場合

①長野新幹線佐久平駅下車、千曲バス 立科町役場前下車徒歩15分／②中央本線茅野駅下車、アルピコ交通→たてしなスマイル交通 芦田バスステーション下車徒歩15分

●車の場合

①関越自動車道→上信越自動車道「佐久」I.Cから車で30分／②中央自動車道「諏訪」I.Cから車で60分

